

令和7年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽演習	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材等	音楽研究ノート						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

歌唱」「器楽（楽器演奏）」「創作（音楽理論・作曲など）」「鑑賞（音楽史含む）」の4つの分野で年間通じて学習します。

- ・学習の到達度は、実技テスト、提出物、ペーパーテストで評価します。
- ・音楽の学習では、個人の音楽的な諸能力を伸ばすだけでなく、合唱や合奏など他の人と一緒に演奏することにより、協力して一つの音楽を作り上げる体験をすることができます。
- ・音楽を学ぶことが、演奏技術や音楽的感性を伸ばすことだけでなく、生涯にわたって音楽を愛好していく態度や姿勢を養えることを願っています。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、表現意図を音楽で表すために必要な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、音楽の表現内容を解釈したり音楽の文化的価値などについて考えたりし、表現意図を明確にもったり、音楽や演奏の価値を見いだして鑑賞したりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、音楽文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを活かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽と豊かに関わり主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	基本的な発声	【歌唱】 「翼をください」 「少年時代」 「花」	a: 歌う喜びを味わい、イメージを持って歌うことに主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形作っている要素を理解して、それらの働きが c: 主体的に表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	演奏の聴取	観察	実技テスト
	ギターコード演奏	【器楽】 「大きな古時計」 【創作】 ギターコードの理解	a: 基本的なコード奏法を主体的に取り組む b: コードの音楽理論の基本を理解して、演奏で音楽的な進行を味わう。 c: 基本的な奏法から、弾き語りをを行い、豊かな音楽表現をめざす。	演奏の聴取	演奏の聴取	実技テスト
2	合唱グループ発表	【合唱】 大地讃頌	a: ソプラノ、アルト、男声でそれぞれのパート練習を意欲的に取り組む。 b: 曲種にあった発声がめざす。 c: ハーモニーや歌詞について豊かな音楽表現をめざす。	演奏の聴取	観察	実技テスト
	音楽会準備	学期に卒業音楽会を1年間のまとめとして行う。 そのための曲目選び、練習の時間にあてる。	a: 意欲的に練習に取り組めること。 b: 自分が演奏する曲について楽曲の要素を理解して、音楽表現に意欲的につながられている。 c: 発表にむけて、楽曲の芸術的な表現をめざして主体的に取り組める。	演奏の聴取	観察	実技テスト

3		卒業音楽会の練習及び実施 公開で放課後行う。	a: 1年間のまとめとして、技術的にも音楽的にも豊かに表現のために意欲的に取り組んでいる。 b: 曲の内容に応じて、芸術的な豊かな表現を目指している。 c: 公開での演奏の機会で、自分演奏が聴いている人に伝えられるように本番の演奏を成功させられる。	演奏の聴取	観察	実技テスト
---	--	---------------------------	--	-------	----	-------

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度